

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-01-03		
施設名	ムーブ町屋				
所在地	荒川七丁目50番9号 センターまちや3階・4階				
部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成8年 4,970,000	0	3,470,000	1,500,000
	増改築① 増改築②				
併設施設	-				
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成8年6月1日	職員数	11人	0人	
構造	SRC造		階層	地上22階、地下2階の内、3・4階部分	
面積	敷地面積		3221.29m ² の一部 m ²		
	延床面積		25557.45m ² の内、2797.17m ² m ²		
設置目的・経緯	区民文化の向上と地域のコミュニティ活動の促進を図る。				
関連部署	交通対策課				
根拠法令等 設置条例	荒川区ムーブ町屋条例及び条例施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	22台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株) コングレ	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	○文化活動の実施に関する事業 ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○ムーブ町屋の施設の利用に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び施設利用者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時まで				
	休日	年末年始(12月29日～1月3日)及び工事、保守点検日				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	総利用人数(人)	84,666	84,786	74,027	79,467	59,000
	ホール年間利用者数(人)	40,620	40,728	37,465	40,668	30,000
	ギャラリー年間利用者数(人)	30,134	31,453	17,907	20,812	15,000
	ムーブホール稼働率(%)	60	64	56	61	45
	ギャラリー稼働率(%)	54	53	36	26	19
	文化、芸能のイベント数(件)	597	600	681	670	502
に指定 用係等 管理 費	指定管理料(千円)	35,524	35,550	34,030	34,362	34,895
	指定管理者の支出合計(千円)	63,250	64,914	64,959	61,883	63,984
	指定管理者の人件費(千円)	29,350	38,228	35,878	35,265	34,196
	指定管理者の利用料金収入(千円)	31,447	32,144	27,723	30,480	30,889
備考	令和2年度(見込み)については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、令和元年度の実績に4月5月の休館、6月の大幅な実績減を加味して、9/12か月を掛けて算出した。(端数切捨て)					

III 財務諸表

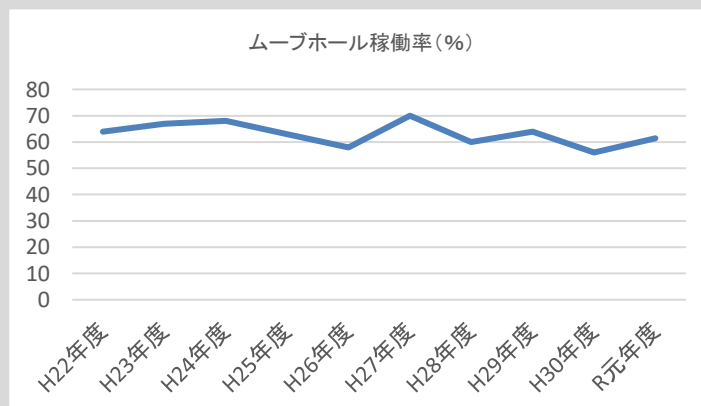
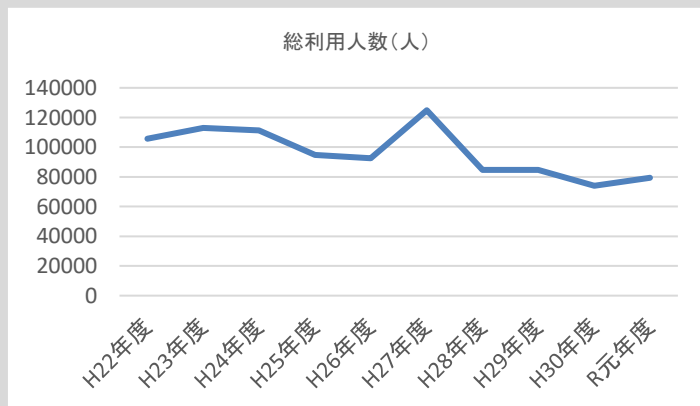
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	46,789	38,489	▲ 8,300	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	294	528	234	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	58,600	63,139	4,539	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	91,001	91,001	0	その他	38	37	▲ 1
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	38	37	▲ 1
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 196,646	▲ 193,120	3,526
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	196,684	193,157	▲ 3,527	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 196,646	▲ 193,120	3,526
	特別費用(g)	3,382	0	▲ 3,382	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 3,382	0	3,382	当期収支差額(e)+(h)	▲ 200,028	▲ 193,120	6,908	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	2,794,028	2,703,028	▲ 91,000	その他の流動負債	0	0	0
	土地	1,516,648	1,516,648	0	固定負債	0	0	0
	建物	3,370,397	3,370,397	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 2,093,017	▲ 2,184,017	▲ 91,000	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	2,796,288	2,705,288	▲ 91,000
建設仮勘定	2,260	2,260	0	正味財産の部合計	2,796,288	2,705,288	▲ 91,000	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	2,796,288	2,705,288	▲ 91,000	
資産の部合計	2,796,288	2,705,288	▲ 91,000					
備考	「物件費」の減少理由は、30年度に区から指定管理者へ支出した前受金の影響である。「補助費」の増加理由は、センターまちやの管理費が増えたためである。							

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	57	59	62.1	64.8	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	26	26	26	26	
	1㎡当たりコスト(円)	59,795	65,863	65,387	69,054	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	46	59	55.2	57.0	
	受益者負担比率(%)	16	15.0	12.2	13.8	
	利用者1人当たりのコスト(円)	1,975	2,173	2,657	2,431	
	開館1日当たりのコスト(円)	465,894	513,178	547,866	538,042	
	区民1人当たりコスト(円)	784	858	846	889	
備考	元年度は、1㎡当たりコスト、人にかかるコストの割合、受益者負担比率、開館1日当たりのコスト、区民1人当たりコストが前年度と比べて増えている。平成30年度に比べ行政費用は減少しているが、平成30年度比較時、指定管理者更新時のみ発生する利用料金収入前受金を除外し、指標を示したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	文化芸能の利用人数	目標値 38,000	32,000	32,500	32,500	50,000
		実績値 30,380	31,191	27,389	29,336	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成8年度:荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度:指定管理者制度導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応					
現状・課題	<p>○開館から23年を経て、施設全体の老朽化が目立ち始めているため、適切な保守により維持管理に努める必要がある。修繕実施にあたっては、指定管理者とセンターまちや管理組合との連絡・調整が必要である。</p> <p>○利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。</p> <p>○施設やその利用方法を広く周知し、利用者の拡大を図る。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止により、令和2年3月から5月末日まで利用自粛及び施設の休館を行った。今後、感染症拡大防止対策を図りながら、新たな利用方法について広く周知し、利用者の拡大を図る。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○関係部署や施設と調整し、今後の修繕計画を検討する。</p> <p>○区民ニーズに柔軟に対応していけるよう、指定管理者と施設管理やサービス向上策について緊密な連携を図っていく。</p> <p>○施設稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取り組みを指定管理者と協議し、実施していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-01-01		
施設名	区民会館（サンパール荒川）				
所在地	荒川一丁目1番1号				
部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和50年	1,950,000		
	増改築①	平成4年	1,540,000	0	1,540,000
	増改築②	平成27年	2,460,000	110,000	1,940,000
併設施設					
竣工年月日	昭和50年3月26日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和50年3月26日	職員数	39	0	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	階層	地下1階、地上6階		
面積	敷地面積		4279.01㎡		
	延床面積		10044.09㎡		
設置目的・経緯	区民の文化の向上と地域のコミュニティ活動の促進を図るため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区民会館条例				
駐車場の状況	20台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	111台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株)ケイミックスパブリックビジネス	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	○文化活動の実施に関する事業 ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○会館の施設の利用に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び施設利用者					
運営時間等	運営時間	午前9時から午後10時まで				
	休日	年末年始（12月29日～1月3日）及び工事、保守点検日				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込み）
	大ホール年間利用者数（人）	146,277	156,510	149,169	128,736	96,000
	小ホール年間利用者数（人）	56,815	53,329	60,189	45,743	34,000
	集会室年間利用者数（人）	74,476	80,518	73,225	64,599	48,000
	大ホール貸出稼働率（%）	55	63	61	58	43
	小ホール貸出稼働率（%）	56	55	60	57	42
	集会室貸出稼働率（%）	37	41	42	40	29
	文化芸能のイベント数	226	252	241	241	180
に指定 用係等 管理 費	指定管理料（千円）	154,850	154,313	153,263	151,653	162,908
	指定管理者の支出合計（千円）	223,362	226,012	215,090	220,378	234,049
	指定管理者の件数（千円）	59,075	64,952	35,987	40,926	40,647
	指定管理者の利用料金収入（千円）	65,887	75,235	76,261	77,943	67,391
備考	平成27年度は大規模改修のため1年間休館（受付機能は移転して継続したため人件費等は発生） 令和2年度（見込み）については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、令和元年度の実績に4月5月の休館、6月の大幅な実績減を加味して、9/12か月を掛けて算出した。（端数切捨て）					

III 財務諸表

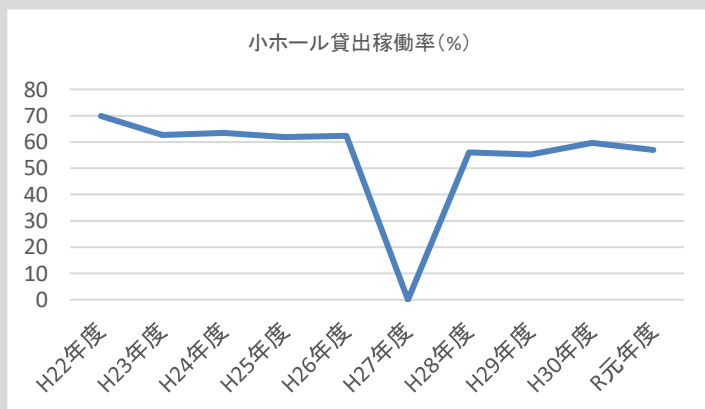
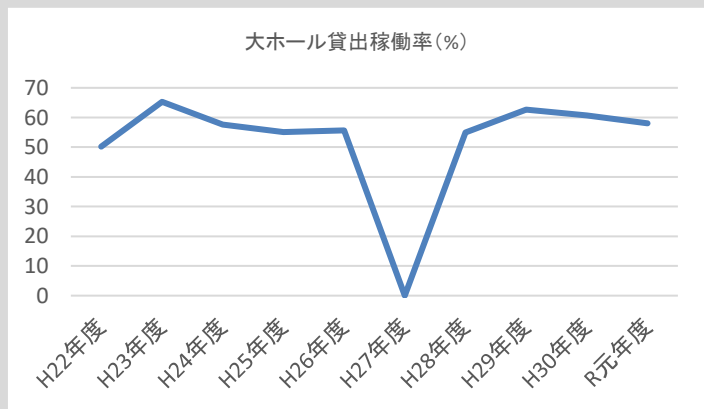
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	185,545	176,220	▲ 9,325	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	60	60	0	使用料及び手数料	4,784	4,148	▲ 636
	減価償却費	15,930	15,930	0	その他	9,667	10,761	1,094
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	14,451	14,909	458
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 187,084	▲ 177,301	9,783
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3,786	▲ 3,536	250
	行政費用合計(b)	201,535	192,210	▲ 9,325	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 190,870	▲ 180,837	10,033
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 190,870	▲ 180,837	10,033	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債	190,417	190,533	116
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	190,417	190,533	116
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	102,231	102,231	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	102,231	102,231	0	固定負債	1,490,096	1,299,563	▲ 190,533
	建物	1,955,347	1,955,347	0	特別区債	1,490,096	1,299,563	▲ 190,533
	建物減価償却累計額	▲ 1,955,347	▲ 1,955,347	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	1,680,513	1,490,096	▲ 190,417
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 1,522,170	▲ 1,347,683	174,487
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 1,522,170	▲ 1,347,683	174,487	
その他の固定資産	56,112	40,182	▲ 15,930	負債及び正味財産の部合計	158,343	142,413	▲ 15,930	
資産の部合計	158,343	142,413	▲ 15,930					
備考	行政費用では、委託料として物件費が多くかかっており、主な内訳は指定管理者委託料である。減少理由は30年度利用料金収入前受金を支出したためである。「行政収入その他」の主な内訳は、行政財産使用料、行政財産使用に伴う光熱水費である。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100	100	100.0	100.0	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	53	53	53	53	
	1㎡当たりコスト(円)	18,437	18,353	18,483	19,137	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	26	29	16	18.6	
	受益者負担比率(%)	28	30	30	29.9	
	開館1日当たりコスト(円)	517,268	514,925	518,553	535,404	
	利用者1人当たりコスト(円)	667	635	657	1,493	
	区民1人当たりコスト(円)	869	900	859	885	
備考	元年度は、1㎡当たりのコスト、開館1日当たりのコスト、利用者1日当たりのコストが前年度に比べ増えている。平成30年度に比べ行政費用は減少しているが、平成30年度比較時、指定管理者更新時のみ発生する利用料金収入前受金を除外し、指標を示したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	文化芸能の利用人数	目標値 122,000	122,000	122,000	122,000	122,000
		実績値 97,540	87,483	64,509	70,309	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成2年度: 荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度: 指定管理者制度導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応					
現状・課題	○平成4年度(第1回)、平成27年度(第2回)に大規模改修を実施した。 ○敷地の一部が東京都市計画道路補助線街路第90号線の予定地であるため、整備後に施設運営に支障がでないよう、関係機関を調整を図る。 ○利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止により、令和2年3月から5月末日まで利用自粛及び施設の休館を行った。今後、感染症拡大防止対策を図りながら、新たな利用方法について広く周知し、利用者の拡大を図る。					
課題に対する現時点での考え	○道路整備にあたっては、施設の影響が最小限となるよう関係機関に要請していく。 ○利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、指定管理者と施設管理やサービス面を上策について緊密な連携を図っていく。 ○施設稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取り組みを指定管理者と協議し、実施していく。					
議会、利用者等からの意見	平成27年度9月会議 「区民利用の立場から見た区民会館の在り方」について					



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-01-02		
施設名	日暮里サニーホール				
所在地	東日暮里五丁目50番5号 ホテルラングウッド4階・5階				
部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成元年 2,000,000	0	0	2,000,000
	増改築① 増改築②				
併設施設	-				
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成元年2月9日		職員数	20人	0人
構造	SRC造		階層	地上13階、地下3階の内、4・5階部分	
面積	敷地面積		3100.03m ² の一部 m ²		
	延床面積		23562.71m ² の内、2311.28m ² m ²		
設置目的・経緯	区民文化の向上と地域のコミュニティ活動の促進を図る。				
関連部署	経理課				
根拠法令等 設置条例	日暮里サニーホール条例及び条例施行規則				
駐車場の状況	3台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株) コングレ	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	○文化活動の実施に関する事業 ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○サニーホールの施設の利用に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び施設利用者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時まで				
	休日	年末年始(12月29日～1月3日)及び工事、保守点検日				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	総利用者数(人)	140,332	145,404	140,554	143,985	107,000
	ホール年間利用者数(人)	63,429	69,066	67,223	69,144	51,000
	サロン年間利用者数(人)	32,735	34,131	33,531	33,060	24,000
	ホール稼働率(%)	71	69	65	63	47
	サロン稼働率(%)	91	90	94	88	65
	文化、芸能のイベント件数(件)	631	650	604	512	383
に指定 用係 等管理 費	指定管理料(千円)	37,725	36,607	40,016	40,197	39,245
	指定管理者の支出合計(千円)	91,173	89,835	98,127	109,618	96,286
	指定管理者の人件費(千円)	46,242	51,870	45,347	56,452	49,326
	指定管理者の利用料金収入(千円)	56,923	57,466	56,760	56,720	57,432
備考	令和2年度(見込み)については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、令和元年度の実績に4月5月の休館、6月の大幅な実績減を加味して、9/12か月を掛けて算出した。(端数切捨て)					

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	77,601	55,216	▲ 22,385	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	429	0	▲ 429	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	7,175	12,734	5,559	使用料及び手数料	22	0	▲ 22
	減価償却費	36,010	36,010	0	その他	5,723	10,763	5,040
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,745	10,763	5,018
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 115,470	▲ 93,197	22,273
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	121,215	103,960	▲ 17,255	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 115,470	▲ 93,197	22,273
	特別費用(g)	6,018	0	▲ 6,018	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 6,018	0	6,018	当期収支差額(e)+(h)	▲ 121,488	▲ 93,197	28,291	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	253,404	217,394	▲ 36,010	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	1,333,703	1,333,703	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 1,080,300	▲ 1,116,310	▲ 36,010	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	259,342	223,332	▲ 36,010
建設仮勘定	2,938	2,938	0	正味財産の部合計	259,342	223,332	▲ 36,010	
その他の固定資産	3,000	3,000	0	負債及び正味財産の部合計	259,342	223,332	▲ 36,010	
資産の部合計	259,342	223,332	▲ 36,010					
備考	「物件費」の減少理由は、30年度に区から指定管理者へ支出した前受金の影響である。「補助費等」の増加理由は、ホテルとの共用部分計画修繕費や管理費等が増えたためである。							

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	76	78	81.0	83.7	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	35.0	35.0	35.0	35.0	
	1㎡当たりコスト(円)	41,397	42,386	41,796	44,979	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	51	58	46.2	51.5	
	受益者負担比率(%)	38	38.0	37	32.7	
	開館1日当たりコスト(円)	266,521	272,886	269,838	289,582	
	利用者1人当たりコスト(円)	682	674	687	722	
	区民1人当たりコスト(円)	449	459	447	479	
備考	元年度は、1㎡当たりのコスト、人にかかるコストの割合、開館1日当たりのコスト、利用者1人当たりコスト、区民1人当たりのコストが前年度と比べ増えている。平成30年度に比べ行政費用は減少しているが、平成30年度比較時、指定管理者更新時のみ発生する利用料金収入前受金を除外し、指標を示したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	文化芸能の利用人数	目標値 67,000	65,000	72,000	72,000	72,000
		実績値 63,005	70,790	63,691	59,600	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成1年度:荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度:指定管理者制度導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応					
現状・課題	○開館から30年を経て、施設全体の老朽化が目立ち始めているため、適切な保守により維持管理に努める必要がある。修繕の実施にあたっては、指定管理者とホテルラングウッドとの連絡・調整が必要である。 ○利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止により、令和2年3月から5月末日まで利用自粛及び施設の休館を行った。今後、感染症拡大防止対策を図りながら、新たな利用方法について広く周知し、利用者の拡大を図る。					
課題に対する現時点での考え	○関係部署や施設と調整し、今後の修繕計画について検討する。 ○区民ニーズに柔軟に対応していけるよう、指定管理者と施設管理やサービス向上策について緊密な連携を図っていく。					
議会、利用者等からの意見						

